

# 福祉公社通信

# 羅針盤

この通信により、広く市民の皆様へ、公益財団法人として、また、全国初の行政関与型在宅サービス提供機関としての福祉公社の今をお伝えします。表題の羅針盤はご利用者の生活を包括的に支援し、その人生行路を共に歩む、昭和 55 年創業時からの福祉公社のサービス基本姿勢を表したものです。

発行日 平成 25 年 10 月 10 日【第 7 号（月刊）】

東京都武蔵野市吉祥寺北町 1-9-1

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

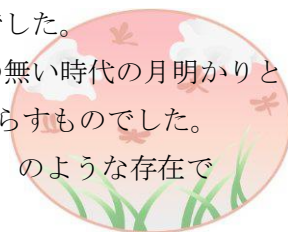
TEL:0422-23-1165 FAX:0422-23-1164

実りの秋、稲の波が日に照らされ、金色に輝く海のように見える季節の到来です。

「いつも月夜に常九月」がその昔の人々の願望でした。

陰暦九月は今の十月、現代のように明るい照明の無い時代の月明かりと実りをもたらす秋は、古人の生活に多くの益をもたらすものでした。

福祉公社は皆様にとって、「いつも月夜に常九月」のような存在でありたいと願っています。



<紙面から>

特集：在宅介護支援センター

・・・P.1～P.3

お知らせ・・・P.4

## 特集：高齢者総合センター在宅介護支援センター（その1）

武蔵野市は昭和 40 年代の後半から、在宅福祉サービスを志向し、その充実に力を注いできました。

その当時からの発想や制度は、今も脈々と市の福祉サービスに受け継がれています。

在宅介護支援センター（以下、在支という）は、介護保険が施行される以前の平成 5 年から高齢者福祉サービスの地域拠点として整備されました。小地域完結型の福祉サービス提供を目指して現在市内に 6 ヶ所設置され、高齢者総合センターの在支はその中でも老舗としてノウハウを蓄積し、高齢者福祉の最前線を担っています。

さらにまた、地域包括支援センターのランチ機能を持ち、介護予防や権利擁護、虐待や多課題利用者等々に対応しています。

市民の皆様が福祉サービスをご利用になる場合の最初の窓口となる在支、その担当係長と若手職員にインタビューしました。

### 在宅介護支援センタースタッフ



## 在宅介護支援センターの役割とは

小芝：ではまず、在支の役割について教えてください。

松原：在支は、言わば「高齢者のよろず相談窓口」ですね。つまり高齢者に関するありとあらゆる相談に応じることがその役割と言えると思います。相談者は、生活上、何か困っているご本人であることもあれば、一緒に暮らすご家族やご本人のケアマネジャーであることもあります。まずは電話や面接で相談を受け、内容によって必要と思われる機関や事業所にもつないでいきます。その入り口として、「高齢者に関する相談はここに来れば解決、どこかにつないでくれる。」という安心感を市民の皆様にとっていただけると嬉しいですね。

太田：本当に「よろず相談窓口」だと思います。

毎日いろいろな方が電話や、センターに足を運んで相談されていますし、内容も様々です。

松原：その他にも在支では様々な業務を行っています（右上図参照）。

小芝：どんな相談にも乗ってもらえるのはありがたいことですね。

では、ここで高齢者総合センターの在支の特徴を教えてください。

## 高齢者総合センター在宅介護支援センターの特徴

松原：当センターは、市内に6か所ある在支のうちの1つで、平成5年に武蔵野市の在支の第1号として開設されました。その後、平成12年に介護保険がスタートし、利用者がサービスを選択する時代になって、役割は大きく変わりました。それまでは利用者からの申請に基づいてサービス利用の審査・決定をしていましたが、介護保険が始まり、利用者が自らの意思でサービスを選択するための支援をするようになったわけです。さらに平成18年に地域包括支援センターが設置されたことにより、「在宅介護支援センター」と呼ばれるものは全国的にほとんどなくなりました。でも武蔵野市は在支を残す選択をしました。地域に根差して、すぐに高齢者の自宅にかけつけることのできる機関の存続が、武蔵野市における高齢者福祉には必要と考えられた結果です。

小芝：市の高齢者福祉にとって、在支はとても重要な役割を果たしているのですね。

では、在支を公社が運営していることの強みはありますか？

## 福祉公社が運営する在宅介護支援センターの強み 総合センターの他事業との連携

松原：福祉公社では、権利擁護や成年後見、ホームヘルプや施設運営など、お元気な高齢者から要介護の方まで、幅広くサービス提供しており、それぞれの担当者が実務を熟知しています。そういう専門職が身近にいるのはとても心強いですね。さらに、高齢者総合センターに在支がある利点として、社会活動センターのご利用者が生活する上で困るようなことができた場合、職員が迅速に動いてサービス提供につなげることもできるということがあります。

## 担当者一丸となつての対応

小芝：要支援や要介護状態にあるかないかに関わらず、地域で暮らす全ての高齢者が支援の対象なのですね。

太田：むしろ、要支援や要介護状態ではないけれども困っている高齢者の方にこそ、当在支による援助が必要な側面がありますね。

小芝：介護保険などの制度を使うことが難しい場合、誰がどのように援助するのか、ということですか？

松原：そうですね。それを当在支の職員がチームとして考え、必要な機関や事業所とも連携を取っていきます。また、介護保険を申請してサービスの利用が開始された場合でも、サービスの導入で全ての問題が解決するわけではありませんから、やはり、継続的に関わって行くこととなります。更に、ご本人に限らず、その家族の問題にも対応が必要な場合がありますので、必要に応じて他の機関や事務所と連携を取っていきます。

小芝：在支の職員がひとつのチームということですが、現在職員は何名いるのですか。

## 在宅介護支援センターの主な業務内容

- ・ 総合相談
- ・ 地域の要介護高齢者等の実態把握
- ・ 介護保険に関する業務
- ・ 民生委員等との連携
- ・ ケアマネジャー支援
- ・ 地域諸団体との連携
- ・ 家族介護支援
- ・ 認知症コーディネーター業務



松原：社会福祉士が1名、介護福祉士が5名所属しています。6名全員が介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を持っていて、内2名は主任介護支援専門員の資格を持っています。さらに、保健師が1名おり、全員で7名です。

小芝：福祉や医療の専門家が身近にいることは、地域で暮らす市民の方々にとって頼もしいことですね。

### 担当職員のよろこび 在支の目指すもの

小芝：お二人がセンターで働いていて、やりがいを感じるのはどんな時ですか。

太田：ご本人やご家族から「ありがとう」と言われることですね。僕は、在宅生活の支援は、全体を把握していくところに醍醐味があると思っています。それが苦勞するところでもありますけど(笑)。

専門的な目でよりよいアドバイスができたと感じられたときは、よかったですと思います。

松原：私は管理者という立場もあって、ご利用者やご家族との直接の関わりというのは少ないのですが、ケアマネジャーの相談に乗って、ご本人の持つ課題がうまく解決し、ご本人が望む在宅生活を全うできたという報告を受けると嬉しいですね。複数の課題を持つ事例の場合は、当然当在支だけでは解決が難しいので、他の機関や事業所の担当者とネットワークを作って取り組んでいきますが、そこで一度課題が解決できると、新たに複数の課題を持つ事例に取り組む時に、そのネットワークが大きな力になることがあります。そういう時はネットワークの一員として、とてもやりがいを感じますね。

ただ、気が付くと一日が終わっていて、なかなかじっくりと取り組めないのが辛いところです。

小芝：では最後に、これからの在支の目指すところについて聞かせて下さい。

松原：一言で言えば、武蔵野市が提唱している「地域リハビリテーション」の一翼を担うことです。公と民が手を取り合って、高齢者を地域で支えていくためのネットワーク作りを進めることが、当在支の大きな役割の一つだと考えています。12月3日には初めての地域ネットワーク会議を開催する予定です。そして、地域のネットワーク作りのためにも、これまで通り地域と「顔の見える関係」を保ちながら、相談者の声に真摯に耳を傾けて行きたいと思っています。

小芝：これからは、地域のネットワークがより不可欠になってくるということですね。これからも市民の皆様の頼れる「よろず相談窓口」としての活躍も期待しています！今日はありがとうございました。

### 盛況！ 高齢者総合センター デイサービスセンター夏祭り

8月30日に、総合センターデイサービスセンターの夏祭りが開催されました。

例年になく多数の地域の母子の方々がお越し下さり、参加者総数は237名でした。

ご利用者の皆様は、小さいお子さん達が元気にお祭りを楽しむ姿に目をほそめ、世代間交流のじゃんけんゲームも大変盛り上がりしました。また、恒例の「和太鼓SOH」による勇壮な太鼓の演奏・演舞を皆で鑑賞し、全員で往く夏を見送りました。「和太鼓SOH」は市の保育士を主要メンバーとするサークルです。毎年、ご利用者の皆様のために熱演していただきます。重ねて御礼申し上げます。



今年はステージではなく参加者の輪の中で演奏していただきました。

会場が一体となって、大いに盛り上がりました！！

## 高齢者総合センター 敬老の日 行事報告

9月16日の敬老の日は、台風襲来の悪天候でしたが、社会活動センターの敬老行事は予定通り実施されました。都理容生活衛生同業組合の武蔵野地区の理容師の皆様によるヘアカットには21名、浜より子講師によるカラオケ講習会には31名のご参加をいただきました。

また、本部後見係のチェックシートを使った「老いじたく相談会」も初めて開かれ、興味をお持ちになった方々のご相談を承りました。お足もとの悪い中、ご参集くださり、有難うございました。

## 福祉公社からのお知らせ

### 高齢者総合センター 社会活動センター

#### ～ 児童との交流会開催 ～

世代間交流の思い出を児童のところに刻みましょう。  
講座（フラダンス、墨で遊ぶ創作書道、マジック、煎茶道、ふれあいサロン水墨画）を共に体験します。

日時

10月30日（水）

10時30分から11時30分 千川小4年生

13時30分から14時30分 武蔵野東小3年生

10月31日（木）

10時30分から11時30分 大野田小3年生

問合せ 社会活動センター Tel 51-1975

### 高齢者総合センター設立20周年記念

#### ふれあい文化祭・デイサービスセンター作品展

社会活動センター受講者の方々の日頃の活動成果をご披露いたします。また、恒例の新宿うたごえ喫茶“ともしび”のステージ、南米パラグアイの民族楽器アルパの名手ルシア塩満による「アルパの調べ」コンサートも必見です。今年からデイサービス作品展もあわせて開催します。

デイサービスご利用者がプログラムで心をこめて作り上げた作品、ボランティアさんと共同制作した品々など多彩な展示です。また、地域社会のまちおこしや福祉の充実に取り組んでいる団体ともコラボレーションいたします。

皆様、ふるってご参加ください。

日時

11月14日から11月15日 10時から16時

11月16日 10時から15時

問合せ 社会活動センター（Tel 51-1975）まで

### 老い支度講座

誰にでも訪れる老いに備えて、元気なうちから準備しましょう。それがご自身の尊厳を守ります。

日時 10月28日（月）13時30分から15時

場所 高齢者総合センター

申込・問合せ 在宅サービス課後見係（Tel 23-1165）

次号は平成25年11月10日発行予定です。



福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>

### 武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

☎0422-23-1165（総務課、在宅サービス課）

☎0422-23-2611（ホームヘルプセンター武蔵野）

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

☎0422-51-1975（管理・社会活動センター）

☎0422-51-1974（在宅介護支援・補助器具センター）

☎0422-51-2933（デイサービスセンター）

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15（全て共通）